



薬師寺小だより

平成31年2月
下野市立
薬師寺小学校長
鈴木一恵

薬小っ子スタンダード
当たり前のことを
当たり前に行える子に



自分のことは
自分でする

やさしく



テレビやゲームの
時間を決める

かしこく



家族と一緒に
正しい食習慣

たくましく

今年度最後の授業参観

保護者の皆様の熱い目差しに包まれて

1月下旬には本校でもインフルエンザが猛威を振るいご心配をおかけいたしました。予防にご協力頂きましたことで流行の拡大を防ぐことができました。

2月8日には予定通り授業参観を実施することができました。校内を一巡してみますと、どのクラスも張り切って学ぶ子ども達と熱心に参観する保護者の皆様の熱気で、寒さを忘れてしまうほどでした。

スペースの関係で全員の方が教室に入れないクラスもありましたが、学校中が学びにふさわしい静けさで、廊下からもお子様の姿を一心に見つめていらっしゃる保護者の皆様の姿に感動しました。

保護者の皆様の熱い目差しに包まれ、1年の締めくりにふさわしい授業参観日となりました。子ども達は自信をもって進級までの時間を過ごしていくことでしょう。お忙しい中、学年懇談会やPTA専門部会にもご出席頂きありがとうございました。



立春を迎えたとは言えまだまだ続く寒さの中、子ども達の元気の素は何といってもおいしい給食です。今年も1月下旬に給食週間が実施されました。

我が国の学校給食の起源は明治22年山形県鶴岡市で児童の空腹を満たすために始まったと言われておりますが、現在は季節感や行事に配慮し、栄養満点の給食レストランと名付けたいような美味しく素晴らしいメニューが提供されています。近年は給食における地産地消にも力が入られ、身近な生産者の新鮮な食物は子ども達の心にも響いているようです。そんな思いを1年生が作文に綴りお昼の放送で発表してくれました。

ぼくはようちえんのとき、きゅうしょくがきらいでした。だからいつものこしていました。でもいまはぜんぶたべられるようになりました。

いまでもやさいはきらいです。でも、きゅうしょくのやさいはおともだちのおとうさんがつくっているとききました。だから、がんばってのこさずたべようとおもいます。

きゅうしょくはがっこうのきゅうしょくしつでつくっています。だから、きゅうしょくのみそしるは、あたたかくて、とてもおいしいのでだいすきです。だから、きゅうしょうをつくってくれる人にかんしゃしてたべようとおもいます。

きゅうしょくはせんせいやおともだちといっしょにたべるのがたのしみです。きゅうしょくとうばんは、おともだちといっしょにするのでたのしいです。

これからもおともだちとなかよく、いろいろな人にかんしゃしながら、のこさずたべようとおもいます。



4日立春の日はタイミングよく集会の日でしたので、子ども達が自信をもって進級できることを願いつつ、「寒苦鳥」というお話をしました。(インフルエンザ流行を考慮してお昼の放送で実施しました。)

大人が読んで身につまされるお話です。私たち教職員にとっても担当した子ども達と過ごす時間が残り少なくなってきました。しっかりと責任を果たせるよう教職員一丸となって頑張ってお参ります。

「寒苦鳥(かんくちょう)」



むかしむかし、インドの山奥のとても雪深いところに、寒苦鳥(かんくちょう)という鳥が住んでいました。

この鳥は、ものすごく怠けものの鳥でした。それは、自分の巣を作らないのです。

昼間は太陽が出てとても暖かくなるので、歌を歌ったり遊び回ったりして、まったく巣を作りません。

夜になると、他の鳥たちは自分の巣に戻りますが、寒苦鳥には巣はありません。

雪山ですから夜はものすごく寒いです。木の枝のところで寒苦鳥は寒さでブルブルと震えながら、

「あー寒い。明日こそは、怠けないで絶対に巣を作ろう！」

と涙を流しながら決心します。

ところが次の日になると、太陽の暖かさに前の日のことを忘れ、いつもと同じように遊び回ります。

夜になると、また、「明日こそは、巣を作ろう！」

と決心するのですが、朝になると暖かさにまた忘れま

す。毎日毎日同じことを繰り返して、寒苦鳥はついに巣を作ることなく、むなしく一生を終えてしまいます。

いつも「明日はやろう、明日はやろう。」と思い反省するのですが行動に移せない鳥、それが寒苦鳥です。

ここまで聞いて、自分に似ているなあと思った人はいませんか。

どんな人の心にも「寒苦鳥のような怠ける心」はあります。しかし、その心に打ち勝って、やることをしっかりとやっていかなくてははいけません。成長がありません。

「明日があるから・・・。」とやらなくてははいけないことをいつも後回しにしていると、大切なことをやり残してしまいます。

今の学年の学習で分からないことは、今のうちに先生に質問して教えていただきましょうね。先生達も待っていますよ。

今年度もあと少しです。あと35日登校すると今の学年の勉強が終わり新しい学年に進級します。6年生は34日です。(2月4日現在)

皆さんは寒苦鳥にならないようにしてくださいね。



縄跳びで体力作り

子ども達は厳しい寒さにも負けず縄跳びで体力作りに励んでいます。今年のリズム縄跳びは「USA」のリズムに乗って体育主任考案のプログラムをこなしています。



インフルエンザの影響で予定していた全体練習を控える日もありましたが、風の吹かぬ日は自主的に友だちや先生と練習する姿が見られ感心です。長縄跳びでは1本の長縄を通してコミュニケーションが図られ心も体も温まります。

ネット利用の当り前は大丈夫ですか？

小学生の心や体の成長にとってリアルな生活がとても大切なのですが現実はどうでしょうか。新たな心の病として「ゲーム障害」という病気が出現しました。ゲームがコミュニケーション能力や学業、将来設計にまで影響すると言われており、ゲームをするならできるだけ遅い方がいいと言われてます。(NHK「きょうの健康」より)

また、ネットトラブルのニュースが後を絶たず、小学生もトラブルに巻き込まれる可能性は皆無ではありません。スマホやゲーム機、タブレットやパソコン等を使わせるのであれば、しっかりとご家庭で話し合い、ルールを決めること、これは親の責任の下で必ず行ってください。後で痛い目に遭わぬようどうぞお家での確認をお願いします。

ネット利用の当り前 「4つの大丈夫？」

- ① 時間(使う時間を家族と決め貼り出す)
- ② 内容(送る前に確かめよう)
- ③ 相手(信頼できる人を選ぼう)
- ④ 困ったとき(すぐに誰かに相談しよう)

第4回避難訓練を実施しました

給食室からの出火を想定した避難訓練を行いました。今回は予告無しで行い、とっさの時にも行動できるよう訓練しました。事前に担任は学年に合わせていろいろな場合の行動パターンを指導しておきました。放送があったらその場に座って静かに聞くことや頭を守ることも周知しておきました。



当日は突然の緊急放送に驚いた子どもが多かったようですが、全学年、無事に集合場所に避難することができました。これまでの地震・火災・竜巻・不審者などの訓練が万が一の時に生かされることを心から願います。

<担任の感想から>

想像以上に子どもは「担任の指示を待っている」ということを感じました。事前に「ここで地震火事が起きたら」「担任がいなかったら」と考える機会をとってきましたが、担任を探してきよろきよろする児童、隣の担任が指示を出しても、すぐには動き出せない姿などがありました。また、子ども達は避難訓練をすることはできても、実際の自分達の動きはどうだったのかは判断できません。避難訓練後に教師が感じた事を言葉で伝えてあげる時間をとりました。

1年生 地域の皆さんと昔遊び

2月7日薬師寺6丁目老人会の皆様に昔遊びを教えて頂きました。こま回し、お手玉、わなげ、おはじきなどに挑戦しました。「上手、上手」と褒めて頂きながらどんどん上達していました。



秋山様からは手作りのお手玉を寄付して頂きました。1年生の手にぴったりの大きさで嬉しそうに何度も何度も挑戦していました。



小山市藤沼畳工業様からは軽量畳をご寄付頂きました。おはじき遊びやカルタ遊びを畳に座って行うことができ、尚一層、お年寄りの温もりを感じることができました。

6年生 税金について学ぶ

市納税課職員の皆さんから税金について学びました。知っている税金の種類を尋ねられ消費税や自動車税は答えられましたが、道路や公園、学校も税金でできていると知り驚いた様子でした。



学校ボランティアを募集します

1年生入学当初の給食ボランティア、ミシンボランティア、図書ボランティア、校外学習ボランティアなど、本校ではボランティアさんに子ども達の活動を支援して頂いております。

今年度は薬師寺の歴史講座、オカリナや琴、シンセサイザーのボランティアさんにも参加して頂き、教育活動が一層豊かになりました。2月下旬には6年生が総合的な学習に外部講師ボランティアをお願いしキャリア教育を実施します。

更正女性保護の会の方々には懇談会の残留児童見守りボランティアや花壇作りでたいへんお世話になっております。

さて、来年度も保護者の皆様や地域の皆様から学校ボランティアを募集したいと考えております。2月中にご案内を配布しますのでよろしくお願ひします。

地域とともにある学校を目指しておりますのでご近所でご関心のある方がいらっしゃいましたらぜひお声かけください。



おめでとうございます！！ 県以上の表彰のお知らせ

☆県理科研究展覧会最優秀賞

4年上野由珠さん

☆県理科研究展覧会優秀賞

1年上野晴之佑君&6年上野麟太郎君

☆ジュニア知事作文優秀賞

4年野尻恭佑君 6年上野麟太郎君

☆とちぎ百様(俳句・川柳)優秀賞

6年上野麟太郎君

☆文部科学省優良教員 土田礼巳教諭